



# 議会だより

昭和村

第 135 号 平成25年10月30日発行



## 目 次

- 平成24年度決算を認定 ..... 2ページ
- 村長の考えを質す ..... 3ページ
- 議会活動の報告 ..... 11ページ
- 議案審議の内容 ..... 12ページ

昭和小学校鼓笛隊パレード（秋の交通安全運動）

## 平成25年 第3回定例会開催される

第3回定例議会は9月6日から10日まで開催され、村長から提出された平成24年度の決算や平成25年度の補正予算、地区要望の審議などを中心に議論され、全議案が可決されました。一般質問では8人の議員が村長の考え方を質し、熱の入った質問、答弁が繰り広げられました。

また、今定例会では昭和村の将来構想を議会も検討すべきとの提案から特別委員会が設置されました。今後も皆様の期待に応えられる議会を目指して活動してまいりますので、皆様のご意見をお聞かせください。

### 12月定例議会のお知らせ

12月13日から17日までの日程で開催が予定されています。一般質問は16日の予定です。ぜひ傍聴において下さい。

# 平成24年年度決算認定

今定例会では、村長から平成24年度の一般会計及び特別会計の決算内容とその成果が提出され、審議の結果、全会一致で認定しました。(決算金額などは、先に配付された「広報しょうわ10月号」で詳しく掲載されていますのでご覧ください。)

また、昭和村の財政状況を示す「健全化判断比率」などの指数の報告もありましたが、昭和村は健全財政を維持していることが確認され安心しました。

しかし、収入の多くを国からの財源補てんである地方交付税に依存していることから、国の経済・財政状況によっては急激に悪化することも想定されます。議会としても行政とともに、社会情勢や経済情勢を的確に把握し、健全な財政運営が継続できるよう努めてまいります。

昭 和 村 の 財 政 状 況	区分	24年度の 財政指數	簡単な解説
	財政力指數	0.08	地方交付税への依存の程度を示すものです。 「1」に近いほど財政力が強いです。本村は村税などが4%程度と少ないため、財政力は非常に弱いといえます。
	経常収支比率	77.0	独自の施策や新たな施策に対応する余力があるかどうかという財政の弾力性を示すものです。 75%程度が妥当といわれています。本村はおむね標準的といえます。
	実質赤字比率	該当なし	一般会計の赤字額の割合を示すものです。本村は黒字であるため指數は算定されませんでした。
	連結実質赤字比率	該当なし	一般会計と特別会計などを合算した場合の赤字額の割合を示すものです。本村は全部の会計が黒字であるため指數は算定されませんでした。
	実質公債費比率	8.0	収入金をどれだけ借金（地方債）の返済に充てているかを示すものです。18%以上は警戒。 25%以上は危険。35%以上は破綻。本村は健全財政であるといえます。
将来負担比率	該当なし	借金（地方債）など将来負担しなければならない金額の割合を示すものです。本村は現時点では借金より貯金（基金）の額が多いため、指數は算定されませんでした。	

平成24年度の決算は、議会審議や監査委員の意見でも総体的には良好との評価になりました。しかし、残念なことに、村の税金（個人村民税と固定資産税）の滞納累積額が、平成23年度の決算時点から1年間で102万円も増え、591万円もの額に膨れあがつてしましました。

この原因は一体何でしょうか。原因究明と今後の対策が急がれます。

村税滞納累積額  
102万円増!!



# 村長の考え方を質す

## 一般質問



栗城敏郎 議員

**村長** 水田農業を考え  
村長談話会を開催した。  
集落単位では担い手に  
なる人も少ないので現状で  
あり、隣接する集落の担い手が共同して  
取り組める組織のあり

**産業建設課長** 残念な  
がら組織が設立されて  
いない状況である。村

**問** 村長は、集落の農地は集落の話し合いで体制を整える必要があると述べている。しかし、集落での解決は難しく、強い行政の指導力、牽引力が必要と考へる。地域農業振興の課題と認識、今後の見通しについて尋ねる。

**問** 地区の営農組織が営農を継続するために必要とする機械整備の支援に、1千500万円が予算計上されている。しかし、支援があつても、受け入れ母体がなくては役に立たない。どのような対応を考えているのか。



**問** からむし織体験生や研修生の経済的基盤の構築や、担い手対策など、からむし事業の新たな展開が急務である。後継者対策や環境

内全域をカバーできる組織まで、今、検討を進めているところであります。

**Q 農業の担い手対策は行政の強い指導力と牽引力が必要だ**  
**A 担い手組織のあり方を検討中**

**問** 新規就農希望者がいない状況が続いている。豊かな表現構成に工夫を凝らしたインターネットの活用を図つては。

**Q ネットで新規就農者募集を**  
**A 親しみやすいページに**

**問** 花き生産基盤強化のための产地生産力強化総合支援事業補助金が、新規就農者だけに偏つていいか。

**問** 花き振興協議会が、花き農家の要望を踏まえた上で計画を立ててもらい実施している。

**Q 花の補助事業に偏りはないか**  
**A 農家の要望を基に**

整備などのさまざま  
な課題に対し議論を行  
い、対策を講ずる  
必要があると考え  
る。

**Q からむし事業の新たな展開が急務**  
**A 課題を踏まえ進め**

**問** 織姫制度20周年をお祝いするべきと考えるが。

**村長** 織姫事業は、からむし織の振興と村活性化のために有効な事業と考える。継続して実施するための課題などを踏まえ、振興公社とも密接に協議しながら進めたい。

**問** 歴代からむし織体験生の作品展、基調講演を含めたシンポジウム、ワークショッピングなどの開催を予定している。



# 村長の考え方を質す

## 一般質問



〈馬場政之 議員〉

### Q 雪対策答弁のその後を問う

A 安全性を考えながら制度設定したい

〔村長〕 第三者への被害は建物の所有者が損害賠償を求められることも想定されるので、さらに引き続き関係町村の情報を収集しながら、検討を重ねたい。

〔問〕 平成24年第1回定期議会で、道路沿いの家屋からの落雪事故防止対策を質問した。事故を起こさない、安全に住める社会づくりを考えると答弁していたが、その後を伺いたい。

〔問〕 他町村の情報収集のみでなく昭和村こそ先端を切つて取り組むべきではないか。

〔村長〕 残念ながら今はそこまで至っていないのが現状である。今後とも、引き続き検討を重ねてまいる。

### Q 宿泊室からの眺望が極めて悪い

A 十分配慮する

〔問〕 新しらかば荘の宿泊室、特に特別室からの眺望が極めて悪く、自然風景が楽しめないのではないか。心配はないのか。

〔村長〕 特別室からの眺望は、温泉交流棟と重なるため、景観を損なうことのないよう十分に配慮してまいりたがどこまで検討が進んでいるのか。昭和村の雪対策はほかの町

〔総務課長〕 開業までは、村が自前で管理をする。



裏から見た建設中の施設

昭和村議会だより

村よりも一刻も早く必要である。知恵を出し合つて臨まれるべきである。

### A 利用客の安全確保と利便性に努める

〔村長〕 既に設置している人や自治体の状況、費用などを再調査し、安全性を考えながら制度設定をしたいと考えている。

〔問〕 施設には停電や非常事態の対策として、蓄電装置が設置されていないが、設置する考えはないのか。

〔村長〕 蓄電装置は経費節減のため設置しなかつた。昭和村への電気は金山経由、西山経由、南会津経由の3方から供給されているため停電時でも早期復旧が図られると考えている。

〔問〕 駐車場や温泉交流棟の除排雪、利用客の冬期駐車も大変心配される。その対策を尋ねる。

〔村長〕 除雪車両での除雪を予定し、国道からの進入路は温泉の廃湯を利用する。

# 村長の考え方を質す

一般質問



馬場栄三 議員

問 村の総合健診の時にピロリ菌の検査も実施できないか。

村長 ピロリ菌に関する情報提供とともに、昭和村国保診療所において検査ができる旨を積極的に周知してまいりたい。

保健福祉課長 県から具体的な内容が示されないとなればこの制度は活用したい。

問 ピロリ菌は胃がんの発がん因子であると考えられている。その危険性について村民に広く周知することが必要だと考える。行政の対応を伺いたい。

村長 総合健診を委託している福島県保健衛生協会によれば、現時点では不可能とのことだが、平成27年度からは希望者に全額自己負担で実施できるよう検討していきたい。



村長 (株)奥会津昭和村振興公社が中心となつ

問 来年のオープンに向けたしらかば荘の人材、スタッフ、料理長などの確保の進捗は。この事業は村の大プロジェクトだ。村も積極的に介入するという姿勢が大事ではないのか。



村長 今年度は首都圏での観光キャンペーンや特産品PR、PR車輛の整備を計画している。今後も、引き続き本村の観光物産イメージ強化に向け取り組んでいく。

村長 木道改修は11月30日完成に向けて取り組んでいる。トイレ整備と駐車場整備は、来年度の事業で現地調査などを進めているところである。

村長 今年度は(株)奥会津昭和村振興公社が静岡県伊豆市、東京南青山、東京神宮前、奈良市の4カ所で展示会を開催した。来年度も展示、PRを行い昭和村のイメージ回復を図ることにより、交流・誘客・物販のさらなる増加を推進したい。

Q ピロリ菌検査の実施を  
A 平成27年度から実施を検討

問 観光物産イメージアップ強化支援事業の実績と来年度の計画は。

問 矢ノ原の木道改修、トイレ整備、駐車場整備の進捗状況を伺いたい。

Q 福島県ブランド・イメージ回復支援基金事業の進捗状況は  
A 計画どおりの進捗である

て、スタッフの確保、PR活動を進めているところである。任せっぱなしではなく、村の担当部署も一緒に検討を重ねて、進んでいるところである。

昭和村議会だより

# 村長の考え方を質す

## 一般質問



《菅家敏章 議員》

問 指定管理候補者と支配人は決まったようだが、板前や従業員などの確保はできたのか。6月定例会で、村長は従業員の数や収支計画などを精査し、従業員研修を行い、開業に向け準備していくと答弁したがその準備はできたのか。

問 オープンまでの準備室は創つたのか。また、オープンまで村は振興公社とどのように係わっていくのか伺う。



建設中の温泉棟

村長 (株)奥会津昭和村振興公社において支配人を決定し、順次、料理長や従業員などの配置が進められると聞い

問 では、生産団体が、他市町村から雑穀刈取り機械を借りたい時に行政はその橋渡し

農業委員会事務局長

問 農業委員会では耕作放棄地対策にどのような考えを持っているのか。

Q 新しらかば荘オープンまでの準備室はつくつたか  
A 整備準備検討会を定期に開催

問 オープンまでの従業員研修など、ソフト面の行程表を示せ。

問 村内では各地区で生産組合を立ち上げて遊休農地の解消に一生懸命取り組んでいる。菜種やエゴマを栽培する団体もあるが、刈り取る機械は所有していない。雑穀刈取り機械を村が購入する考えはあるか。

問 農業委員会でエゴマ栽培の実証に取り組んでいる。今年度内に耕作放棄地対策の方向性を取りまとめる計画で進んでいる。

Q 雜穀刈取り機械の導入計画は

A 村で購入する考えはない

もとに方向性を共有し開業に向けて円滑な準備体制をとっている。準

# 村長の考え方を質す

一般質問

問 村内を通る国県道の路肩除草が県の道路維持事業として行われている。しかし、途中で除草をやめている区間がある。特に県道柳津昭和線は目立つようである。予算の関係で

## Q 国県道の路肩の除草を徹底させよ

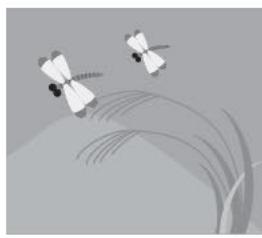
A きつく要望する



菅家一博 議員

村長 村内を通る国県道の道路管理者は福島県であり、村内は宮下土木事務所が管轄している。路肩の除草や、路面の補修なども含めて、きめ細かな対応をしてもらうよう、きつくなき要望するのでご理解願いたい。

途中で終わつたという話を聞いているが、これは安全面及び景観上重要な維持管理事業である。今後、このような状況が起きないよう村から強くお願ひすべきではないのか。



## Q 昭和村こそ先進的な空き家対策が必要だ

A 私有財産であり慎重に対応する

問 昭和村の空き家は約30棟にも及ぶと言われている。昭和村の空き家対策は、住むためには改修する場合はその空き家を借りる人に助金を支出しているが、空き家の取り壊しには補助制度がない状況である。

村長 補助金の見直しについては、所有者の負担増にもつながることも懸念される。また、解体処分に係る経費への助成は、私有財産処分に係る経費の公費負担になることから、慎重に対応しなければならないと理解している。他の町村が何とかの方法で実施しているのにそれは理解できない。対策を今後強烈に進めるよう要望する。



# 村長の考え方を質す

一般質問



〈五十嵐勝 議員〉

村長  
若者定住による  
人口増加は当村の喫緊

問 昭和村ふるさと定  
住化促進条例は、もつ  
と斬新で内容の濃い事  
業が必要ではないかと  
考へるが、村長はどう  
考へているのか。

村長  
所要の改正が生  
じたときは適時見直し  
を図っている。

問 村条例は社会情勢  
の変化などで実態に即  
しない部分もあるので  
はないか。見直し、あ  
るいは点検は実施して  
いるのか。

A 適切に見直しをしていきたい  
Q 条例の見直しが必要では

問 昭和村奨学資金貸  
与条例の中には、定住を  
希望する者及び定住し  
た者は奨学資金の返還  
を免除するという規定

村長  
条例などの見直  
しは個人的には考へて  
いる。今後の課題とし  
て検討したい。

問 そこで、就職奨励  
金に該当する職場の規  
制を緩和してはどう  
か。

の課題であり、時代の  
要請に合った施策を講  
じるよう検討したい。



がある。  
しかし、その者に対  
しては昭和村ふるさと  
定住化促進条例の就職  
奨励金は支払わない規  
定になつてゐる。全ての  
人を公平に昭和村は迎  
えるべきではないのか。

村長  
しらかば荘は昭  
和村単独の施設である  
ため実施できないが、

問 しらかば荘新装才  
一ローンの記念イベント  
を、奥会津振興センター  
の事業として実施でき  
ないのか。

村長  
数値までは把握  
できないが、小規模自  
治体単独では難しい  
PR事業や観光情報の  
提供など、広域連携の  
メリットを活かした活  
動を展開しているとこ  
ろである。

問 奥会津振興センター  
は、震災や原発事故  
で落ち込んだ観光客数  
の打開に向けてどんな  
成果を上げたのか。

A 広域連携のメリットが活か  
されている  
Q 奥会津振興センターの成果は

村長

国道289号八  
里越トンネルが貫通し  
たことを契機に、奥会  
津振興センターが中心  
になつて新潟県側との  
交流も進めるべきでは  
ないのか。

村長

国道401号新  
鳥居峠がやがて改良さ  
れれば、昭和村と新潟  
県との交流は今以上に  
活発になると思われる  
ため、大切な取り組み  
だと考へてゐる。



# 村長の考え方を質す

## 一般質問



《東原源伯 議員》

**Q からむし織の里環境整備を早急に実施できないか**

**A 平成27年度に計画している**

問 からむし織の里周辺の環境整備を図る必要があると考えるが。

村長 昭和村の自然環境は貴重な財産である。自然とともに生きる村として景観の保全に努め、生かしていくなければならないと考えている。

問 環境整備構想の実現の方針、考え方を伺いたい。

村長 からむし織の里を核とする裏山の環境整備は第5次昭和村振

問 興計画で計画している。佐倉地区や地権者と話し合いを進めようと考えている。

問 確かに平成27年に計画されているが、森林環境基金という財源があるわけだから早めに実施できないのか。

**Q 昭和ホームの運営は万全か**

**A 平成27年に向け万全を尽くす**

問 事業主体は昭和福祉会であるが、村が主体的に進めていくべきだと思うが。

答 早い時期に30床増床して運営できるよう、事業主体の昭和福祉会を積極的に支援していく。  
成26年度に建築工事が行われ、平成27年度の



とを考えている。  
計を行う予定である。  
現在は昭和福祉会職員と設計業者が検討を重ね、基本設計を作成している。用地は現在の施設に隣接する山側の用地を想定しており、地権者との交渉が始まっている。用地は現在の

問 30床増床になるが入所待機者の解消手順を伺いたい。

村長 平成27年度増床の段階では村民の待機者はおおむね解消できるものと期待している。

問 昭和ホームの増床計画は本年度予算に計上されているが、用地の確保や施設の整備はどうのように進めるのか伺う。

問 事業主体は昭和福祉会であるが、村が主体的に進めていくべきだと思うが。

答 増床事業は政策的な側面が強ないので、村としては積極的に支援をしたいと思っている。具体的には、基本設計の段階でも村職員が積極的に入り調整を行っている。用地交渉も村職員が同席したい。場面で行政も積極的に支援をした

問 ホームページやハローワーク、高等学校、専門学校へ求人の募集をしたり、開所1年前からは随時採用することにより万全を尽くすことである。村も村営住宅を整備するなどの支援を行う。

問 30床増床になるが入所待機者の解消手順を伺いたい。

村長 本年度は基本設

計、用地購入、実施設

も理解願い

ているのでご理解願い

たい。

村長 からむし織の里

を核とする裏山の環境

整備は第5次昭和村振

り、場面で行政も

積極的に支援をした

たい。

村長 からむし織の里

を核とする裏山の環境

# 村長の考え方を質す

## 一般質問



《菅家勝 議員》

問 6次産業化について尋ねる。農産物や林産物を加工し、附加值

村長 昨年度、団体などが農産物加工に係る備品や施設の整備をする場合に、333万円まで補助する制度を創設した。村内の生産者団体などに事業の推進を図っているところである。今後も推進を図っていく。

問 6次産業化と農商工連携の村の取り組み現状と今後の展望を尋ねる。

村長 昨年6月末に1団体から相談を受け、会津保健所や農業普及所と話し合いを進めてきた。現在のところ、その団体では事業着手を図っているところである。なお、施設は平成26年4月から運用が開始できるよう計画している。

問 値をつけた商品の開発について村民の中から要望はないのか。また、今後の施策はどのように考えているのか。

**Q 6次産業化は重要施策である**

**A 実現には厳しいものがある**

問 小規模農家でも村で生活できる切り札として、付加価値をつける高収入に結びつける6次産業化を、村長はどういうくらい重要なに思われているのか。

村長 地域活力の向上と所得や雇用の増大を図る上で農林水産物等の地域資源活用による6次産業化は、地域活性化、地域コミュニティーのきずなが深まるなど、大きな効果が生まれるものと考へている。

問 農家が提供できる農産物をどんな加工品にするのか、方向性が明確であれば関連業者などの紹介は可能で

援についてどのように考えているのか。

村長 農家が提供できる農産物をどんな加工品にするのか、方向性が明確であれば関連業者などの紹介は可能で

援についてどのように考えているのか。

問 農商工連携について尋ねる。農林業者と商工業者の橋渡しの支

問 農商工連携の橋渡しを

**Q 農商工連携の橋渡しを**

**A 方向性が明確であれば可能**

問 農業委員会を中心に商品化できないか進めているところである。

問 農商工連携は商品開発だけでなく農産物の販売方法や体験観光など、いろいろな事業が考えられる。村民や世間一般からそのアイデアを募集したり提供したりする考えはあるか。

問 農商工連携の体験観光として山の仕事を楽しませる体験事業を提案したい。林業と観光の連携につながるのでは。

問 農商工連携の体験観光として山の仕事を楽しませる体験事業を提案したい。林業と観光の連携につながるのでは。

問 アイデア募集としては、雪まつりに食品加工コンクールを開催している。



# 議会活動を報告します

昭和村議会では、7月31日から8月2日に岩手県北上市、山形県最上町、そして宮城県石巻市を行政視察しました。

## 地域の産業振興に関する調査

（株）西部開発農産

8月1日に岩手県北上市にある農業生産法人の（株）西部開発農産を研修しました。

当法人は昭和61年に設立。米、大豆、麦などの土地利用型農業で、耕地面積約500ヘクタールという日本最大級の大規模経営を展開しています。社長の照井勝也さんは「人間の命にとって食べ物がいかに大切か。それを生み出す農地を決して無駄にしたくない。」



説明する照井社長

との思いから、高齢化や担い手がいなくて管理できなくなった農家の土地はどんな悪条件でも引き受け、規模拡大を進めてきました。不耕起栽培など大規模経営を支える省力技術を積極的に導入するとともに、農業に意欲的な若手の育成にも力を入れて、北上市内や隣接の高齢化と担い手不足が深刻な山間地域の農業を守っています。

## 住民福祉に関する調査

（最上町）  
地域おこし協力隊

8月2日は山形県最上町を訪問し、地域おこし協力隊の住民福祉分野の役割などを研修しました。

最上町は山形県の北部にあり秋田県や宮城県と隣接する農林業と観光の町です。少子高齢化社会への対応として早くから健康と福祉のまちづくりを掲げてきました町でもあります。その最上町では、自助（町民）・共助（地域）・公助（行政）を

経営規模の違いがあることは言え、地域農業の維持と発展を目指す姿勢は、本村の農業振興に大変役立つものでありました。

最上町は山形県の北部にあり秋田県や宮城県と隣接する農林業と観光の町です。少子高齢化社会への対応として早くから健康と福祉のまちづくりを掲げてきました町でもあります。その最上町では、自助（町民）・共助（地域）・公助（行政）を

意識した持続可能な地域づくりを目指すため、「最上町元気なまちづくり支援体制」を構築し、その中の一つとして『地域おこし協力隊』を位置づけています。平成22年度から都市部の若者2人を隊員として受け入れ、若者ならではの新鮮かつ感性豊かなアイデアと行動力を様々な地域活動を展開し、3年後には1人が町職員として定住しました。今年も5人を新たに受け入れ、住民生活支援、農林水産業従事、環境保全従事などのほか、特産品の開発とPR、地域イベントなど町民との交流や情報発信活動をしてています。

※ 行政視察の経費は、議員の個人負担金で実施しており、不足分を公費で補っています。



最上町地域おこし協力隊員

接続し、本村でも実施している地域おこし協力隊事業や、地域活性化の振興に大いに参考になりました。

# 議案審議の内容

## 特別委員会を設置しました

少子高齢化が著しい昭和村は、定住人口や交流人口の増加を図るために様々な政策を実施していますが、国の財政悪化や原発の問題、道州制導入の論議など、村民の皆様の中には村の将来に不安を抱いている方もいらっしゃいます。

我々議会も村の将来について、どんなことが想定され、どう対応すべきなのか、さらには、議員定数も含めた議会のあり方も検討するため「昭和村将来構想特別委員会」を設置して調査・研究をおこないます。村民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

昭和村将来構想特別委員会委員長 五十嵐 勝  
同 副委員長 菅家 敏章

## 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する 地方の財源確保のための意見書（抜粋）

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るために森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかるとともに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

平成25年9月10日

昭和村議会議長 渡部 長治

内閣総理大臣ほか関係する大臣 宛

## 道州制導入に断固反対する意見書（抜粋）

道州制導入により、ほとんどの町村は事実上の合併を余儀なくされる恐れが高く、道州はもとより、再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食糧供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視して作り上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。よって、我々昭和村議会は、道州制の導入に断固反対する。

平成25年9月10日

昭和村議会議長 渡部 長治

内閣総理大臣ほか関係する大臣 宛

# 議案審議の内容



## 村長行政報告

(1) 昭和温泉交流拠点施設整備事業  
宿泊棟は7月12日に完成。温泉交流棟建設の進捗状況は8月末で18%。8月に株奥会津昭和村振興公社と開業準備体制の契約を締結。その株奥会津昭和村振興公社は、しばらくは莊支配人を新たに採用（小中津川出身）した。

(2) 保健事業  
今年度の特定健診受

力発電所事故に伴う内  
部被ばく検査を9月17  
日に実施する。

(3) 健康管理事業  
4歳以下の子供を対象にした福島第一原子

診率は、目標の65%を上回る66・3%。

(4) 診療所の診療体制  
7月下旬に国保診療所長が体調不良になつたが、会津医療センターカから医師が派遣され休診を回避してきた。今後も安定した診療体制の確保に努める。

(5) 農林水産物モニタリ  
ング検査  
トマト、ナス、キュウ  
リなどの夏野菜や、  
野尻川のアユからは放射性物質は検出されなかつた。しかし、野生キノコの出荷停止と、渓流釣り禁漁は昨年から続いている状況。

(6) 稲作  
穂いもち病の発生は確認されず、カメムシの発生も極めて少ない。

(7) 花き  
カスミソウは開花の遅れや害虫の発生で、8月中旬までの出荷数量は前年を下回った。

(8) 道路整備  
村道大芦静川4号線など、風評払拭、販路拡大に努力している。

(9) 上下水道事業  
大芦地区農業集落排水の加入率は8月末で61・8%。また、簡易水道水からは放射性セシウムは検出されていない。

○ 税条例  
○ 昭和村国民健康保険条例  
○ 昭和村税特別措置条例

**主な審議内容**  
今定例会で審議された議案と主な審議内容をお知らせします。

### 条例改正の審議

○ 一般会計（第5号）  
総額8千332万5千円の増額補正。主なものは地デジ用光ファイバ送信網を強化するための工事費など。

○ 結果  
全員賛成で可決

○ 補正予算の審議  
号

○ 教育関係  
教育委員会の点検・評価は、福島大学准教授ほか4人で構成する新たな教育行政外部評議員会で実施した。

○ 映画「ハーメルン」  
7月19日に村公民館で特別先行上映会を、その後、会津若松市と福島市で先行上映会を開催した。9月7日からは東京渋谷で一般公開が始まる。10月には県内の2劇場で公開が決定し、順次全国公開が予定されている。

